

教科〔家庭科〕 第〔2〕学年	年間指導計画	
	月	学習内容
<p>* 具体的到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に積極的に取り組み、家庭に対する関心を高め、生活をよりよくする意欲を持つ。 ・衣生活・住生活・保育・経済について自分の経験や知識から考えや意見を書いたり 発表したりできる。 ・本や新聞、雑誌、インターネットから必要な資料を集めて、自分の考えをまとめる力をつける。 ・実習はポイントに気をつけて、安全で能率的に作業ができる。 ・学習には予想を立てて臨み、ふり返って課題を整理する。 		<p>わたしたちの衣生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服のはたらきを考えよう ・衣服を選ぼう ・衣服の手入れと補修をしよう ・衣服の収納と再利用について考えよう
<p>* 評価の観点・方法</p> <p>①関心・意欲・態度・・・すすんで課題を見つけ、計画、実践し課題を解決しようとしているか。発表、課題レポート、提出物、授業態度で評価します。</p> <p>②創意・工夫・・・家庭生活について見直し、課題を見つけ、解決しようとしているか。実習中の工夫、発表、レポート、定期テストで評価します。</p> <p>③技能・・・家庭生活に関する基礎的な技術を身につけ、課題を解決しようとしているか。実技テスト、作品評価、自己採点で評価します。</p> <p>④知識・理解・・・学習した基礎的な事柄を理解し、生活に活用しようとしているか。定期テスト、発表、レポートで評価します。</p>		<p>わたしたちの生活と住まい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいのはたらきとは何だろう ・家族と住まいのかかわりを考えよう ・健康で心地よく住むために ・安全に住むにはどうしたらよいだろう ・よりよい住まいと住み方を考えよう <p>わたしたちの消費と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活について考えよう ・消費者としての自覚を持つよう ・生活の中で環境への影響を考えよう
<p>* 使用教材</p> <p>・教科書 新しい技術・家庭科 家庭分野 東京書籍</p>		<p>ともに生きるわたしたち</p>
<p>* 学習上の注意・助言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分から積極的に授業に取り組むことが大切です。 ・説明を聞くときと実習をするときの区別が必要です。 ・実習は安全に気をつけ、協力して行う。 ・生活の中で授業と関連があることなど自分で調べてみましょう。→レポート提出 ・テストでは授業で習ったことと、自分の考えを述べる問題が出ます。 ・忘れ物がないようにし、提出物は必ず出しましょう。 ・学級の仲間と、教え合えるようになるとすばらしいです。 		<p>わたしたちの成長と家族</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼いころって、どんなだっただろう ・幼児の生活と遊びを知ろう ・幼児の心身の発達の特徴を知ろう ・子どもにとっての家族を考えよう ・中学生にとっての家族を考えよう ・家族と地域とのかかわりを考えよう
<p>* 家庭学習の仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で授業と関連があることなどを自分で調べてみましょう。 ・家庭生活に関わるテレビ番組、書籍などにたくさんふれてみましょう。 ・習ったことやわかったことを家庭生活の中で生かしてみましょう。 		